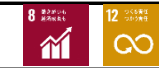


令和4年度 基本評価調書①		所管部局	経済部	所管課	観光振興課		
施策名	誘客活動の推進			施策コード	0516		
政策体系(中項目)	道民をはじめ国内、そして世界中から愛される「観光立国北海道」の実現			政策体系コード	2(6)A		
関連重点戦略計画等	知事公約 創生総合戦略 Society5.0推進計画 地球温暖化対策推進計画					事務事業数	17
SDGs				総合判定	遅れている		
予算額(千円)	R 4	40,870,923	R 3	4,257,115	R 2	752,651	

施策目標	感染症の状況に応じ、道内から国内、海外へと段階的な観光需要の回復を目指した取組を進めていくとともに、海外については、渡航制限緩和状況に応じた戦略的なプロモーションを展開していくなど、持続的な観光市場の拡大を図る。					
現状と課題	新型コロナウイルス感染症の影響により、インバウンド需要が消失するなど、道内の観光需要は大きく減少しており、観光関連産業には甚大な影響が生じている。安定した観光入込客数の増加には、災害や感染症、国際情勢などによる影響の縮小化が必要である。					
前年度二次評価意見	なし	対応状況(R4.3時点)		なし		

	今年度の取組	実績と成果
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・国の補助制度等を活用し、道内外からの旅行者を対象とした旅行商品に対する支援を実施する。 ・道内外の学校による教育旅行の道内での実施に向け、「新北海道スタイル」に対応した宿泊を伴う教育旅行及び冬季観光施設への日帰り教育旅行を支援。 ・感染症の影響により落ち込んだ北海道観光の再興を図るためプロモーションを実施する。 ・本道へのMICE誘致を促進を図るため、開催助成のほか、オンライン商談会の開催など、市町村の受入環境充実に向けた取組を支援。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光需要喚起のため、R3.12月から旅行割引事業「どうみん割」を開始し、R4.4月には現行制度開始以来最高の利用実績となり、5月末までのR4年度利用延べ人数は786,936人となった。 ・貸切バス等での感染リスク低減に取り組むために必要な費用を支援する「教育旅行支援事業」をR2年度から実施している。【支援実績 R2:1,683件、R3:2,453件】 ・R3.8月に北海道観光振興機構(道負担金)事業として初となる、海外に拠点を設置した北海道観光レップ事業を英国にて開始し、欧州市場向けモデルコースの造成や現地旅行会社等への営業活動等を実施した。 ・道民一体となった情報発信の展開として「HOKKAIDO LOVE!」を合言葉にテレビCMやウェブ広告など道外での大規模なプロモーションを実施する。 ・R3年度のMICE誘致支援事業においては、北海道MICE誘致促進助成金として1件の大型コンベンションに助成したほか(R2:0件)、オンラインでの商談会では、国内26社・海外50社の参加につながった(R2:国内14社、海外:0社)

連携状況	事業の実施に当たっては、北海道観光振興機構をはじめ市町村、観光協会、関係企業・団体と連携のもと推進を図っているほか、道内芸能事務所やプロスポーツチームと連携してHOKKAIDO LOVE!のプロモーションを行うなど、民間企業との連携により効果的なPRを図っている。また、「どうみん割」については、東北6県民への利用拡大によって、利用実績の増加を図っている。【どうみん割利用延べ人数:R4.3:95,597人→R4.4:387,496人→R4.5:303,843人】
------	--

緊急性優先性	訪日外国人来道者数(実人数)はH30年度に過去最高の312万人となったが、感染症の影響により、R2年度以降は旅行需要の低迷が続いていることから、継続的な事業者支援が必要となっており、GoToトラベル事業に関し、地域の実情を踏まえた運用と事業実施期間の柔軟な対応を求めるとともに、どうみん割の財源である地域観光事業支援について、利用期間の延長や補助経費の拡充をはじめ、キャンセル料の補填制度措置などについて、国に対し要望を行ってきた。また、渡航制限解除に向け激化が予想されるプロモーションやMICE誘致に関し、官民連携による事業や誘致・開催支援などについて国に対し要望を行ってきた。
--------	--

令和4年度 基本評価調書②	施策名	誘客活動の推進	施策コード	0516
----------------------	------------	---------	--------------	------

〈成果指標の達成状況〉 ⇒ 3つ以外の指標は、補助指標調書に記載

指標名①	増加	万人	H30年度	R元年度	R2年度	最終目標(R7)	達成率	指標判定
観光入込客数（道内客）		目標値	4,761	4,821	4,880	4,880	64.0%	D
		実績値	4,601	4,441	3,123			

設定理由 道民への本道の魅力の発信や戦略的な誘客活動による成果を図る指標として設定。

分析（主な取組と成果）
「GoToトラベル」や「どうみん割」等の施策効果もあり観光需要の回復も見られたが、感染症の拡大により、道内においても緊急事態措置等が講じられ、不要不急の帰省や旅行自粛の要請などにより旅行需要が減少したため指標が低調となった。
※達成率はR4.7.1時点で公表されている数値で評価【R3年度実績値3,234万人（R4.9月公表）】

指標名②	増加	万人	H30年度	R元年度	R2年度	最終目標(R7)	達成率	指標判定
観光入込客数（道外客）		目標値	598	606	620	700	34.7%	D
		実績値	607	592	215			

設定理由 道外への本道の魅力の発信や戦略的な誘客活動による成果を図る指標として設定。

分析（主な取組と成果）
「GoToトラベル」や「どうみん割」等の施策効果もあり観光需要の回復も見られたが、感染症の拡大により、道内においても緊急事態措置等が講じられ、不要不急の帰省や旅行、他都府県への往来自粛が要請されるなどにより、旅行需要が減少したため指標が低調となった。
※達成率はR4.7.1時点で公表されている数値で評価【R3年度実績値261万人（R4.9月公表）】

指標名③	増加	件	H30年度	R元年度	R2年度	最終目標(R7)	達成率	指標判定
国際会議等の開催件数（暦年）		目標値	119	122	125	140	2.4%	D
		実績値	116	115	3			

設定理由 道内における国際会議等の開催動向を把握する指標として設定。

分析（主な取組と成果）
感染症の世界的な感染拡大により、外国からの渡航が原則停止され、全国的にも国際会議の開催は困難な状況となった。

【総合判定】

連携状況	○	緊急性 優先性	○	指標判定	D	総合判定	遅れている
------	---	------------	---	------	---	------	-------

翌年度に向けた 対応方針	対応方針番号	内容
	①	観光入込客数は感染症の拡大により低調となっているが、引き続き、感染状況や地域の実情に合わせ、国の制度を活用しながら関係機関との連携のもと、道内の観光関連事業者に対する継続的な支援に取り組む。
	②	観光入込客数は感染症の拡大により低調となっているが、新規客とリピーターの拡大に向け、メディアやSNS等さまざまな媒体による情報発信に取り組むとともに、将来的なりピーターとなる児童や生徒を対象とした教育旅行の誘致に取り組む。

③ 国際会議等の開催件数は感染症の拡大により低調となっているが、現地参加とオンラインを併用とするハイブリッド型の開催による現地参加の減少が懸念されることから、本道の価値をアピールするとともに高齢者や障がい者など多様な方々が安心・快適に参加できる「やさしいMICE」の誘致など、関係自治体・機関と連携し取り組む。

令和4年度 基本評価調書③	施策名	誘客活動の推進	施策コード	0516
---------------	-----	---------	-------	------

<二次政策評価>

R4年度 二次政策 評価	<p>【施策目標の達成状況】</p> <p>総合計画に掲げる、「観光立国北海道」の再構築のため、渡航制限緩和状況に応じた戦略的なプロモーションの展開や甚大な影響が生じている観光関連産業への支援が重要であり、総合計画の政策目標の実現に向け、取組の一層の推進を検討すること。</p>
--------------------	---

令和4年度 事務事業評価調書	施策名	観光活動の推進	施策コード	0516
----------------	-----	---------	-------	------

整理番号	重複施策	経費区分	事務事業名	事務事業概要	課・局 室名	令和4年度						令和4年度			
						前年度からの繰越事業費(千円)	事業費(千円)	うち一般財源	執行体制			フルコスト(千円)	一次政策評価		二次政策評価意見
									本庁	出先機関	人工計		対応方針番号	方向性	
0321		一般	誘客推進・需要喚起による北海道観光再興事業(創生交付金・臨時交付金)	新型コロナウイルスの影響により落ち込んだ北海道観光の再興を図るためプロモーションを実施する。	観光振興課		426,716	24,835	0.8	0.0	0.8	432,943	②	改善(指標分析)	【施策目標の達成状況・事務事業の有効性】※基本評価調書③<二次政策評価>参照
0322		一般	MICE誘致支援事業費	本道へのMICE誘致を促進するため、MICE主催者等に対するプロモーションを実施するとともに、市町村の受入環境充実等の取組を支援する。	観光振興課		34,360	34,360	0.3	0.0	0.3	36,695	③	改善(指標分析)	【施策目標の達成状況・事務事業の有効性】※基本評価調書③<二次政策評価>参照
0323		一般	どさんこ旅サロンの運営・利用促進事業費	首都圏において北海道観光の魅力をアピールする情報発信拠点として、札幌市と連携して東京・有楽町に設置した「どさんこ旅サロン」を運営する。	観光振興課		12,720	12,720	0.3	0.0	0.3	15,055			
0324		一般	北海道ロケーション誘致推進費	本道が有する映像資源を活用し、地域の知名度向上やロケ地観光の振興を図るため、ロケーション支援窓口を庁内に設置し、ロケ誘致に結びつく取組を実施する。	観光振興課		274	274	0.3	0.0	0.3	2,609			
0325		一般	欧米人任用によるインバウンド強化事業費(創生交付金)	語学指導等外国青年招致事業を活用し、欧米圏等の旅行会社へのきめ細やかな対応や欧米人にタイムリーな情報発信を行うことにより、欧米から本道への観光客誘致を更に進める。	観光振興課		5,135	2,245	0.3	0.0	0.3	7,470			
0326		一般	北海道観光誘致促進事業費(国際観光推進事業)	本道観光の振興を図るため、(公社)北海道観光振興機構が実施する各種観光振興事業を支援し、観光事業の健全な発展を図る。	観光振興課		34,557	34,557	0.3	0.0	0.3	36,892			
0327		一般	北海道観光誘致促進事業費(地域プロモーション)	本道観光の振興を図るため、(公社)北海道観光振興機構が実施する各種観光振興事業を支援し、観光事業の健全な発展を図る。	観光振興課		60,000	60,000	0.3	0.0	0.3	62,335			
0328		一般	北海道教育旅行活性化事業費(臨時交付金)	教育旅行の誘致を促進するため、情報発信及び教育旅行関係者に対するプロモーション等を実施する。なお、感染防止対策の徹底に留意した上で実施する。	観光振興課		23,240	0	0.3	0.0	0.3	25,575			
0329		一般	教育旅行支援事業費(臨時交付金)	道内外の学校による教育旅行の道内での実施に向け、「新北海道スタイル」に対応した宿泊を伴う教育旅行及び冬季観光施設への日帰り教育旅行を支援。なお、感染防止対策の徹底に留意した上で実施する。	観光振興課		1,582,211	0	0.8	0.0	0.8	1,588,438			
0330		一般	観光誘客促進道民割引事業費	国の補助制度等を活用し、道内外からの旅行者を対象とした旅行商品に対する支援を実施する。	観光振興課	16,064,500	38,685,907	0	0.8	0.0	0.8	38,692,134	①	改善(指標分析)	【施策目標の達成状況・事務事業の有効性】※基本評価調書③<二次政策評価>参照
0332		一般	観光振興諸費	国内外の観光関連情報の発信及び収集、各種調査、関係機関との調整等を行う。	観光振興課		5,803	5,803	0.3	0.0	0.3	8,138			
0334		事務	関係機関・団体・関連産業に関する事務	北海道運輸局、北海道開発局、日本観光協会、北海道観光振興機構等関係機関・団体、関連産業との連絡調整等	観光振興課		0	0	0.3	0.0	0.3	2,335			
0335		事務	旅行業法に基づく登録事務	旅行業者及び旅行代理業者の登録、変更、更新登録、立ち入り検査、指導、苦情・相談対応等。	観光振興課		0	0	0.3	0.0	0.3	2,335			
0336		事務	観光審議会に関する事務	審議会及び部会の開催、開催結果のとりまとめ、審議内容に関する資料の収集・作成・提供	観光振興課		0	0	1.0	0.0	1.0	7,784			
0337		事務	北海道観光のくにつくり行動計画に関する事務	計画目標の達成状況の把握、道の施策の推進管理等。	観光振興課		0	0	2.0	0.0	2.0	15,568			

整理番号	重複施策	経費区分	事務事業名	事務事業概要	課・局 室名	令和4年度						令和4年度			
						前年度からの 繰越事業 費(千円)	事業費 (千円)	執行体制			フル コスト (千円)	一次政策評価		二次政策評価意見	
								うち 一般財源	本庁	出先機関		人工計	対応 方針 番号		方向性
0338		事務	新たな財源確保に関する事務	新たな財源の確保の検討を進めるため、関係団体や地域での説明等を実施。	観光振興課		0	0	3.0	0.0	3.0	23,352			
0339		事務	観光局総合調整業務	観光局の各事務事業が円滑に執行されるよう管理する。	観光振興課		0	0	6.0	0.0	6.0	46,704			
計						16,064,500	40,870,923	174,794	17.4	0.0	17.4				

